

問合先 総務課 行政係 ☎552-1511

中学生広島派遣事業

HIROSHIMA

8月5日(土)～7日(月)

平和都市宣言の推進事業として、次代を担う子どもたちに、戦争、原爆の恐ろしさや平和の尊さを学んでもらうために、市内4校の中学2年生を被爆地広島へ派遣しました。

参加した代表10人は、平和記念式典への参列や平和記念資料館の見学、被爆者による体験講話の受講などを通し、現地でしか感じることができない戦争の悲惨さを学び、8月17日(木)に報告会を行いました。

■ 参加した生徒のみなさん	阿部 凛平	能生中学校
	中嶋 一惺	能生中学校
	朝比奈 小春	糸魚川東中学校
	内田 光	糸魚川東中学校
	伊藤 さゆり	糸魚川中学校
	長谷川 紗花	糸魚川中学校
	北山 結菜	糸魚川中学校
	猪股 紗瑛	糸魚川中学校
	小田嶋 陽菜	青海中学校
	長谷川 未空	青海中学校

戦争、原爆の恐ろしさ、悲惨さについて



能生中学校

中嶋 一惺 さん



昭和20年8月6日午前8時15分に長さ3メートル、直径0.7メートル、重さ4トンという原爆が、一瞬のうちに広島を破壊しました。生き残った多くの人にも放射線の影響で病気となり、長く苦しんだ末に命を落としました。「原爆症は伝染する」という間違った認識から差別や偏見に苦しめられてきた人もいます。原爆にはこのような恐ろしい面があります。僕はこのような事実を知って改めて原爆をなくしたいと強く思いました。

どうしたら原爆はなくなるのでしょうか。今、自分にできることは、伝えることです。原爆の恐ろしさをたくさんの人に伝えて、僕と同じように、原爆をなくしたいと切に願う人をさらに増やしていきたいと思います。

平和記念公園、平和記念資料館を見学して



糸魚川東中学校

内田 光 さん



先日私は広島へ行き、戦争・原爆の悲惨さを学んできました。

平和記念公園では、二度と悲劇を繰り返さないことや平和を祈り、千羽鶴を献納しました。千羽鶴は一面にあり、これを見て人々の願いは一緒なのだ実感しました。

平和記念資料館では、どの展示物も見るだけで痛々しく、辛い気持ちになりました。驚いたのは、原子爆弾のサイズです。長さ3メートル、直径0.7メートル、重さ4トンと想像していたよりも小さくて驚きました。この爆弾一発によって、多くの命が奪われ、街が破壊されたと思うと恐ろしく、鳥肌が立ちました。実際に見て、戦争はただ人々の幸せを奪うだけだと思いました。学んで終わりではなく、多くの人に戦争の恐ろしさを伝え、世界の平和を目指していきたいです。